

6 教育研究等

(1) 訪問教育・重度重複障がい児担当教員研修会

ア 趣旨

障がいの状況等により通学して教育を受けることが困難な児童生徒に対し、家庭、福祉施設、医療機関等を訪問して行う教育を担当する教員や、重度重複障がい児を担当する教員等の専門性の向上を図り、訪問教育及び重度重複障がい児に対する支援の充実に資する。

イ 参加者 特別支援学校訪問教育・重度重複障がい担当者

ウ 開催方法 オンライン開催

エ 情報交換内容

①現在の授業の様子や教材の紹介、②訪問教育・重度重複児生の行事について

(2) 公立高校特別支援教育地区別協議会

ア 目的

高等学校における校内支援体制の充実と地域連携による実践力の一層の向上を図ること。

イ 参加者

高等学校特別支援教育コーディネーター、発達障がい者サポート・マネージャー、特別支援学校教員

ウ 実施状況

地区	実施日 ①	実施日 ②	実施日 ③	会場	延べ参加人数	助言者		
						特支教員	サポマネ	その他
下伊那	5/13	8/2	1/27	豊岡村ゆめあるて他	13	○	○	
上伊那	6/16	12/2		Web 会議	11	○	○	
上小	6/27	10/27		上田高校・東信教育事務所	20	○	○	
長水	7/25			長野吉田高校	17	○	○	
更埴	7/21	12/22		更級農業高校	11	○	○	
高水	7/25	10/25		中野西高校	29	○	○	児相
木曾・松塩	9/22	11/25		松本県ヶ丘高校	17		○	
安曇	8/5	12/22		南安曇農業高校他	9	○	○	
諏訪	6/30	10/31		諏訪教育会館	30		○	
佐久	10/27			東信教育事務所（上小と合同）	14			

エ 研修内容

- 中学からの情報引継のない生徒の指導・支援
- 福祉就労など就労支援の進め方と外部機関との連携
- 個別の教育支援計画の立て方
- 特別支援教育に学校全体で取組むための体制づくり

7 進 路 指 導

(1) 中学校特別支援学級進路指導研修会

ア 趣 旨

中学校の特別支援教育担当教員を対象に進路指導の基礎的研修を行うことを通して、進路指導にかかわる実践的指導力の向上を図る。

イ 参加者 中学校特別支援学級担任等 20人

ウ 期日及び会場 令和4年7月4日(月) 長野県総合教育センター

エ 内 容

- (ア) 講義「キャリア教育の視点で授業・生活をつくる」
- (イ) 情報提供「特別支援学級の進路指導の現状」
- (ウ) 実践発表「進路指導 私の実践から」
- (エ) 情報交換「現状と今後の課題について」

8 障 が い 児 (者) 理 解

(1) 交流教育提携校

特別支援学校と94校の保育所・幼稚園、小学校、中学校、高等学校等とが提携し、通常の学習、運動会などの学校行事や、児童、生徒会の活動などを通して交流した。

9 特 別 支 援 教 育 就 学 奨 励 費

特別支援学校に就学する児童・生徒の保護者に対して、経済的負担を軽減する目的で、特別支援教育就学奨励費を支給した。 313,827,569円 (国庫1/2以内 156,913,342円)

10 学 校 評 議 員

平成14年度から特別支援学校に学校評議員制度を導入した。

1校当たり5～8名程度 全18校に設置